

JAレーク伊吹自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともにJAレーク伊吹は『総合事業』を展開します。

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取組みを支えあっています。

ここでは、総合事業として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJAレーク伊吹の主な取組みを紹介します。

①2018年産米から事前契約買取販売方式へ移行し、有利販売を実現

滋賀県下16JAに先駆けてうるち、もち米を対象に事前契約買取販売方式に移行しました。従来の委託販売方式では、出荷から精算完了まで1年半必要でしたが、2017年産米より買取販売を実施するとともに、農業者の所得増大を実現するため、滋賀県内JAで唯一、全銘柄の買取販売を実践しています。

②加工・業務用タマネギの生産

新たな水田野菜の振興と農家所得の増大を目的に加工・業務用タマネギを重点品目に位置付け、生産の普及拡大を進めてきました。目標実現に向け、レンタル農機と育苗供給、集出荷施設、乾燥調製施設の準備を進めることで、機械化一貫体系を進めました。また、精算は事前契約買取販売で固定価格を設定し、生産量が増えれば増えるほど生産者の所得が増大します。



2018年産(2017年定植)は2.6ヘクタール
2019年産(2018年定植)は前年比5.4倍となる14
ヘクタールに拡大
2024年産(2023年定植)は30ヘクタールを目標と
する

③化成肥料の銘柄集約と生産資材コスト低減

肥料の銘柄集約による低価格資材の提供を行っています。また、担い手経営体のニーズに対応したBB肥料や、担い手直送大型規格農薬等の充実による個別事業提案を行い、生産資材コスト低減を実践しています。